

次世代エコライトと提携

LED蛍光灯リースへ

グループ
向け供給
太陽光発電をセット

建設、一般車両リースのNDSリース（本社名古屋市名東区平和が丘5の48、成田典雄社長、電話052・773・2299）は、次世代エコライト（本社名古屋市緑区、河邊祐治社長、電話050・3360・6492）と提携し、LED（発光ダイオード）蛍光灯のリース事業を開始した。日本電話施設（NDS）のグループ企業向けに、リース契約により低価格でのLED蛍光灯の導入を提案するもので、太陽光発電とのセットで展開。「グループ全体で環境負荷低減への取り組みを展開していければ」（同社）としている。

（今井康紀）



成田典雄社長

NDSリースはND Sの子会社。1963年に東海通信車輛として設立。94年にNDSの子会社となる。主にグループ企業向けに建設・一般車両のリースやレンタル、メンテナンスを手掛ける。同社が次世代エコライトと提携してリースを行うのは、LED蛍光灯「ELTUBE（イーエルチューブ）」（商品名）曲面の基盤にチップを取り付け、LEDを外向きにすることで広い照射角とな

っている。電力の利用効率を示す力率99%で、電力ロスを極力抑えたのも特徴。また、次世代エコライトではPL保険に加入しており、安全な製品提供に力を入れている。

NDSリースでは同製品の高い機能性に着目。消費電力の抑制によるランニングコストの低減へ、太陽光発電とのセットによるリースでの取り扱いを行うことにした。

導入を呼びかけるのはNDSのグループ企業22社で、各社の本社、支店、営業所などに活用を呼びかけていく。「高価格のLED製品だが、リースで展開することで、導入しやすくなるのでは」として、これに先駆け、NDSリースでは本社事務所内の照明をLED蛍光灯に切り替えており、環境配慮の企業として社会貢献につなげていく。

20団体が環境活動PR

国際生物多様性の日
栄で記念イベント

10委
OP支
援

生物多様性条約第10（10）支援実行委員会は21（名古屋市東区）で回約国会議（COP）このほど、5月22日が多様性保全に取り組み



家族連れなどが身近な生物との触れ合いを楽しんだ

「国際生物多様性の日」に当たることから、半年後に控えたCOP10の機運を盛り上げる記念イベントを市内で開催した。中部電力は環境部と

エネルギー応用研究所が出展。岐阜県郡上市での森林活動や、三重県で行った海草「アマモ」の造成活動の成果を紹介した。中日本高速道路は、高速道路のり面

一緒にごみ拾い

周辺で美化活動



10名支店

ごみを回収す